

女性診療センターについて

女性診療センター(乳腺外科部門)



呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
医師 萩尾 康子

はじめに

平成23年1月に新診療棟が開院して、私たち乳腺外科が、主に乳がんを中心に乳腺疾患を対象として、女性診療センターで診療を行っています。プライバシーを配慮した完全個室の診察室は、明るく清潔で適度な広さがありますので、リラックスして診察を受けていただけたと思います。また、超音波検査機器も備えておりますので、その場での検査も可能です。同センターには産科・婦人科部門があり、必要な場合には、患者さんは移動することなく、診療を受けることができます。従来よりも質の高い医療を提供できるようになりました。

乳腺疾患の診断の流れ

乳腺外来を受診される患者さんには、自覚症状のある方と、乳がん検診で精密検査を受ける様に言われた方あるいは検診を受けた方がいらっしゃいます。まず、外来でお話を聞いて、視診と触診を行います。次に行われるのがマンモグラフィ検査と超音波検査です。マンモグラフィ検査は、乳房を挟んで撮影するレントゲン検査で、特に40歳以上の乳がんを早期に見つける事ができます。超音波検査は40歳以下の乳腺が発達している方でも、しこりの影を見つけることができます。疑わしい影がある場合には、針を刺して細胞を吸い取る細胞診や、必要に応じて組織診を行います。もし病理(顕微鏡)検査でがんと診断された場合には、確定診断となります。がんと診断されなかった方も定期的に検査を受ける事をお勧めします。

マンモグラフィ検査は、月、火、金曜日の午後です。(福岡市の乳がん検診でのマンモグラフィ検査は、毎週水曜日の午後に行っています。)

超音波検査は、火、金曜日の午後です。

どちらも予約制となっております。

福岡大学病院の特色

乳がんの診断や治療は以前と比べ、大きく変わってきています。手術は大きく切除する拡大手術から部分的に切除する縮小手術が中心となってきました。毎年のように有効な治療薬も開発されてきていますので、治療成績も以前と比べ良くなってきています。今はがんの治療を受けても、患者さんの生活のレベルが下がらないようにすることも治療の目標です。そのため、患者さんひとりひとりに最適な治療法を選択する個別化治療が増えてきています。患者さんは、正確な情報を入手して、自分に最も合った治療を選択することが重要です。

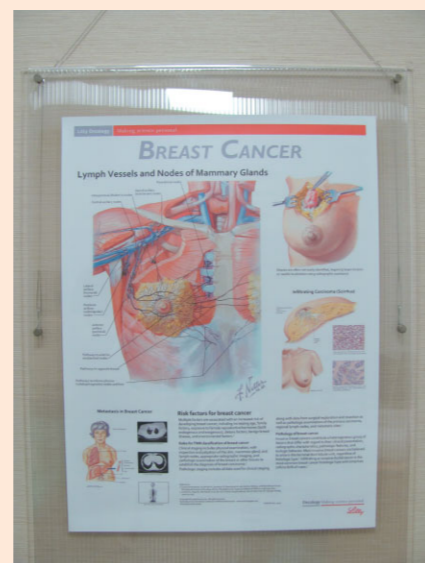
福岡大学病院では、外科、腫瘍内科、放射線科、形成外科、病理部、薬剤部、看護部がチームを組んで診断と治療に当たります。外科治療に加えて形成

外科による乳房再建術や、放射線科による診断や術後の照射治療、そして、腫瘍内科との化学療法・ホルモン療法などの連携で充実した治療を提供することができます。

最良の医療を提供できるように頑張って参ります。いつでもお気軽にご相談ください。



診察風景



女性診療センター(産婦人科)



産婦人科
医師 城田 京子

平成23年1月の新診療棟の開院を機に、産婦人科と乳線外科が一緒になって、女性特有の疾患を包括的に診療できるようになりました。今回、産婦人科の内分泌・婦人科腫瘍・周産期という3つの専門分野を紹介します。

1) 内分泌分野

思春期・不妊・更年期と、各年代の女性に生じる内分泌疾患に対応しています。思春期では、月経に関するトラブルが最も多く、場合によっては、小児科や形成外科と一緒に診療を行っています。不妊では一般検査から、人工授精までを行い、子宮内膜症やクラミジア感染によって、卵管がつまって妊娠しない(卵管性不妊)方には、腹腔鏡下手術や、九州でも

数少ない卵管鏡下卵管形成術を行っています。更年期では、他の病気が隠れていないことを確認した上で、ホルモン剤や漢方薬について、その長所と短所をよく説明し、患者さんの納得のいく形で診療を行っています。

2) 婦人科腫瘍分野

良性疾患には体に負担が少なく、術後の傷が目立たない腹腔鏡下手術を積極的に導入しています。子宮頸がんに関しては、平成22年12月にワクチンが発売され、福岡市も、平成23年4月より中学1年生～高校1年生に無料接種を行っています。当院では対象者が学生であることを考慮して、土曜日に予約制で接種を受け付けています(ただし、現在全国的にワクチンの供給が停止しており、安定供給が再開されるまで、お待ちいただいています)。一方、進行・再発卵巣がんを対象として、HB-EGF 特異的抑制剤BK-UM の第I相臨床試験を行った結果、安全性が確認され、期待できる有効性が認められています。

3) 周産期分野

周産期の入院部門は新生児集中治療室(いわゆる未熟児センター)が併設され、妊婦の集中治療室を含む病棟、すなわち総合周産期母子医療センター・産科部門です。ここは、合併症妊娠、重症妊娠中毒症、切迫早産、胎児異常等、母体や児にとって危険性の高い妊娠(ハイリスク妊娠)に対する医療を行っています。したがって、当センターを訪れる妊婦さんの中には、何らかの病気を抱えた方がいらっしゃいます。しかし本来妊娠・出産は人生における最良の出来事の一つです。我々はハイリスク妊娠であっても可能な限り良い結果に導けるよう診療をし、助産師も妊婦さんの心と体のケアに積極的に参加しています。

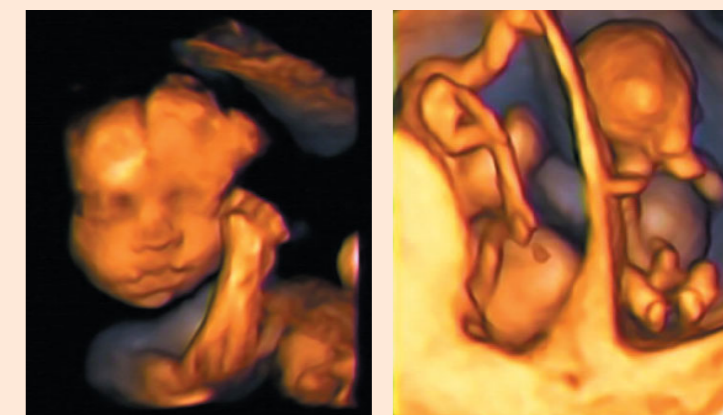
～助産師からのメッセージ～

平成22年より助産師外来を開設し、妊娠中の健康相談や産後の育児・母乳に関する相談を受けたり、退院後の赤ちゃんの発育をチェックして、お母さんが抱く、たくさんの不安が軽減できるよう支援しています。当院産婦人科を受診中の患者さんを対象に、予約制で対応しています。受診希望の方はお気軽に女性診療センターまでご連絡ください。

産婦人科スタッフ一同、患者さんが安心して診察や検査、治療を受けられることを我々の最優先の課題とし、地域社会に貢献できるよう日々の診療に従事しています。



産婦人科スタッフ



胎児3D超音波